

2020年11月18日

折尾駅 新駅舎 2021年1月2日から使用開始！



折尾駅は1891年（明治24年）に開業し、かつては鹿児島本線と筑豊本線が十字に交差する立体交差駅で、筑豊炭田と若松港を結ぶ石炭の要衝として賑わいました。このたび、交通環境改善を目的とした折尾地区総合整備事業に伴い、1916年（大正5年）に建設された旧折尾駅舎の外観を可能な限り再現した新駅舎を使用開始します。

新駅舎完成に併せて、鹿児島本線のホームの位置が変わります。このため、2021年1月1日（金）の夜に大規模な切替工事を行いますので、運休列車が発生するとともに、臨時列車を運転します。

折尾駅（新駅舎）切替について

- 1 使用開始日 ・2021年1月2日（土）始発列車から
- 2 主な変更点
 - ・新駅舎内の改札口が1箇所となります。
※北口、東口、西口のきっぷうりば及び改札を廃止します。
※鷹見口は現状から変更ありません。
 - ・きっぷうりば（みどりの窓口）は、新駅舎内の1箇所となります。
 - ・鹿児島本線新ホーム（4番・5番のりば）を使用開始いたします。
 - ・新駅舎完成に伴い、鹿児島本線と福北ゆたか線及び若松線の乗り換えが短縮されて便利になります。
 - ・鹿児島本線のホームにエスカレーターを設置します。
- 3 注意事項
 - ・現在の北口（仮駅舎）裏に新駅舎を設けるため、駅への入出場や鷹見口までの動線をご確認ください。
 - ・2021年1月1日（金）の夜間、大規模な切替工事に伴い、運休列車が多数発生します。切替当日のお知らせは別紙をご参照ください。
- 4 スケジュール
 - ・2021年1月 新駅舎使用開始
 - ・2021年度 折尾駅全線高架化完了予定
 - ・2022年度 北口駅前広場完成予定
 - ・2024年度 南口駅前広場完成予定

おしらせ

鹿児島本線 折尾駅線路切替工事に伴う列車の運休について

日 時：2021年1月1日（金・祝）23:30頃から1月2日（土）4:50頃まで

工事内容：陣原～遠賀川駅間の線路切替、新駅舎開業及び旅客通路切替

運休列車：上下10本（一部区間運休列車含む）

その他：運休に伴う代行バス等の実施は行いませんので、ご利用のお客さまには大変ご迷惑おかけいたしますが、ご理解の程お願い申し上げます。

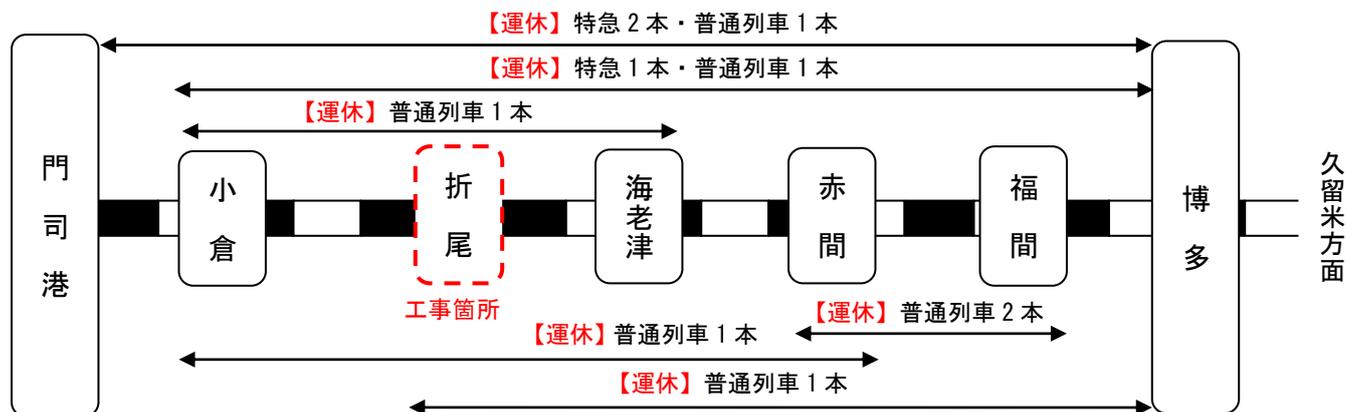
■運休する列車および区間

1月1日（金・祝）

【下り】	普通列車	（下関	22:54 発⇒博多	0:51 着）	小倉から博多	運休
	普通列車	（門司港	23:33 発⇒海老津	0:24 着）	小倉から海老津	運休
【上り】	普通列車	（久留米	21:33 発⇒小倉	0:08 着）	赤間から小倉	運休
	普通列車	（久留米	22:06 発⇒赤間	23:53 着）	福岡から赤間	運休
	普通列車	（荒木	22:11 発⇒門司港	1:09 着）	博多から門司港	運休
	普通列車	（二日市	22:21 発⇒折尾	0:04 着）	博多から折尾	運休
	きらめき 18号	（博多	23:19 発⇒門司港	0:26 着）	全区間	運休
	きらめき 20号	（博多	23:45 発⇒門司港	0:53 着）	全区間	運休

1月2日（土）

【上り】	普通列車	（博多	0:02 発⇒赤間	0:46 着）	福岡から赤間	運休
	きらめき 22号	（博多	0:10 発⇒小倉	1:05 着）	全区間	運休



■臨時列車

1月1日（金・祝）

【下り】	普通列車（小倉	23:20 発⇒折尾	23:47 着）	※折尾駅はAのりばに到着（鷹見口）
	普通列車（小倉	23:48 発⇒折尾	0:14 着）	※折尾駅はAのりばに到着（鷹見口）

1月2日（土）

【下り】	普通列車（福岡	0:18 発⇒博多	0:51 着）	
【上り】	普通列車（折尾	0:31 発⇒門司港	1:13 着）	※折尾駅はBのりばから発車（鷹見口）

折尾駅新駅舎について

令和3年1月2日（土）、大正5年当時の姿を再現した折尾駅舎が開業します。



新駅舎のデザインについて

新駅舎のデザインは、地域の方々の要望を受け、市とJR九州が連携して検討を進め、平成24年10月に公表した「折尾駅舎の保全・活用に向けた基本的な考え方」に沿って、整備しました。

- ・ 構造や部材等の調査を行い、歴史資料とともに記録を整理・保存する。
- ・ 大正5年当時の駅舎の外観については、可能な限り再現する。
- ・ 駅舎のシンボリックな部材については、保存・復元を基本とする。

・ 旧駅舎外観の再現

解体時の調査結果を基に、周辺の景観を考慮しつつ、大正5年当時の姿を再現しました。



▲昭和9年『鉄道記念写真帖』



▲解体前の駅舎



▲平成24年公表イメージ図

・ 駅舎のシンボリックな部材

折尾駅舎を象徴するシンボリック部材を一部補修し、復元を行っています。解体時に既に撤去等していた大正当時の部材についてはレプリカを作成し、再現しています。



▲棟飾り



▲円形ベンチ、化粧柱

(令和2年8月まで折尾出張所に展示)

(参考1) 内観について

駅前広場と改札を繋ぐ駅舎の内観は旧折尾駅舎の待合室をイメージしました。



▲旧駅舎の待合室



▲新駅舎の待合室 (イメージ)

(参考2) 立体交差の歴史の伝承

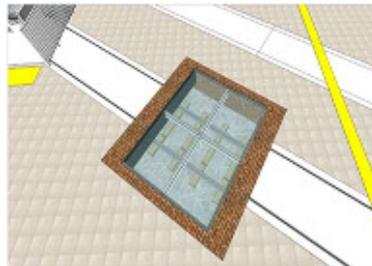
日本初の立体交差が折尾にあったことを後世に伝えるために、

- ・実際に筑豊本線で使用していたレールと枕木の展示
- ・事業着手前の立体交差があった時代の航空写真
- ・立体交差が分かるレール跡の明示

を設置します。



▲日本初の立体交差



▲レールと枕木の展示 (イメージ)



▲新折尾駅構内 (イメージ)

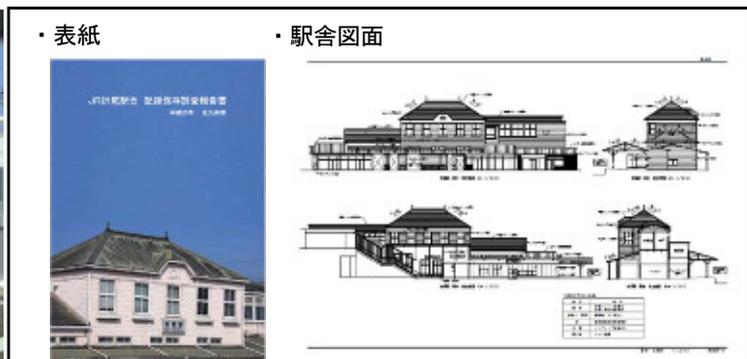
(参考3) JR折尾駅舎記録保存調査

JR 折尾駅舎の歴史や姿を後世に伝えるとともに、新折尾駅舎へのシンボリックな部材の活用や歴史的な外観の再現に活かすため、記録保存調査を実施し、報告書を作成しました。

調査報告書は図書館などで閲覧でき、調査結果の概要などは市のホームページで閲覧できます。



▲専門家による調査の様子



▲報告書 (一部抜粋)

令和3年1月2日 始発便より 折尾駅 『新駅舎』 がオープン!! 改札口の位置が変わります

折尾駅の新駅舎オープンに伴い、改札口までの歩行者通路が大幅に変わります。折尾駅をご利用の皆様には、工事期間中において、ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【主な変更点】

- 現在の〔西口〕〔東口〕〔北口〕の改札口は閉鎖し、新駅舎の改札口に統一します。鷹見口改札は、これまで通り利用できます。
- 改札口の変更に伴い、改札口への歩行者通路が変わります。

※特に、西口バス停や、東口(駅南側)付近、国道3号方面からのルートが大きく変わりますので、ご注意・ご確認ください。

折尾駅周辺 歩行者通路 案内図



【お問合せ先】 北九州市 建築都市局 折尾総合整備事務所 事業調整課
住所：八幡西区大浦二丁目13-7 電話番号：602-3108